



校報 徳田っ子

平成 30 年 2 月 27 日 (火)

第 16 号

矢巾町立徳田小学校



テーマ「つなげよう伝統のバトン伝えよう感謝の気持ち」

心のコもった 6 年生を送る会



20 年以上? 使い込まれた伝統のくす玉割り



指揮の谷村拓海さんのきびきびとしたリードによる鼓笛

3 学期に入り、1 年間の学習や生活のまとめに取り組む子供たち。さらに、児童会や委員会、鼓笛にさんさ太鼓など様々な活動の引継が行われています。22 日 (木) には、それらの節目となる 6 年生を送る会が行われました。この行事は、3 学期に引継を行った新執行部が企画・運営を行う最初の取組です。5 年生以下の学年がそれぞれ招待状や会場の装飾などを分担し当日を迎えました。

入場は、4 月の 1 年生を迎える会とは逆に、1 年生が 6 年生の手を引きエスコートしました。初めの言葉に続いて 2 月の歌として練習してきた「Best Friend」を体育館中に美しく響かせました。続いてあいさつに立った新会長の 5 年藤原 愛さんは「これまで全校のリーダーとして私たちを引っ張ってきてくれた 6 年生に感謝の気持ちが伝わる会にしましょう。」と呼びかけました。

全校ゲームで場を和ませた後は、低学年の出し物。2 年生は呼びかけと 3 年生から引き継いださんさ太鼓の披露。1 年生は呼びかけとチェッコリダンス付の玉入れ。「かわいい。」とつぶやきながらやさしい笑顔で見つめる 6 年生の表情が印象的でした。続く鼓笛の引継は、卒業生と在校生それぞれの演奏が行われ、それまでとはガラッと雰囲気が変わった静かな会場の中で、きびきびとした動きとメリハリのある呼びかけ、迫力のある演奏が行われました。特に目を引いたのが 3 年生。4・5 年生に引

けを取らない態度、行進、演奏を見せ、高学年の仲間入りをする 4 月からの活躍に期待が持てました。最後は 6 年生から。6 年間の思い出を劇にして会場を沸かせたり、「ひまわりの約束」の合唱でしんみりとさせたり。6 年生との別れを実感した低学年の中には、目に涙を浮かべる子もいました。

朝はこの冬一番の冷え込みでしたが、笑顔あふれ、心温まる 2 時間でした。

絆 思いやりの日

本校では、3 月 11 日を「絆 思いやりの日」として、全学年が復興教育を行う日に位置付けています。

今年度は 11 日が休日のため、9 日と 12 日に分けて学習を行います。9 日には全学年が復興教育副読本を使った学習を行い、12 日 (月) には、東日本大震災当時、釜石市の釜石東中学校に勤務していた花巻市教育委員会指導主事 齋藤真先生による「復興教育講演会」を開催し、東日本大震災津波発災当時の様子やその体験から学んだことなどを高学年児童に語りかけていただきます。13:55~14:20 に集会室で行いますのでご都合のつく方はご来校ください。

おめでとう! 徳田っ子の活躍



2 月 14 日 (水) 田園ホールを会場に平成 29 年度の矢巾町児童生徒顕彰メダル授与式が行われました。今年度、県レベルの大会で 3 位相当以上の成績を収めた児童を表彰するもので、本校からは以下の皆さんが参加し、高橋昌造町長から顕彰メダルを授与されました。当日会場で一度だけ説明を受け、リハーサルを行っただけでしたが、どの子も大きな声で返事をし、立派な態度で式に臨みました。

3 年 藤原 潤さん (マラソン) 4 年 高橋愛泉さん (バドミントン)
4 年 佐々木陽菜さん (バドミントン) 4 年 細谷翠幌さん (空手)
5 年 久保賢輔さん (卓球) 5 年 南條満喜さん (民謡)

引き続き同じ会場で、矢巾町青少年健全育成会議主催の青少年の論文作文コンクールの表彰が行われ、以下の皆さんが受賞しました。

2 年 藤原 理央さん (低学年の部 最優秀賞)
1 年 佐々木音寧さん (低学年の部 優秀賞)
3 年 佐藤心樹さん (中学年の部 優秀賞)